



晃陽

第3号

～生徒が安心して力を発揮できる学校～

<目指す生徒像>

- たしかな学力をもつ生徒
- 豊かな心をもつ生徒
- 強い体力・気力をもつ生徒

晃陽は
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

学校だより 令和2年6月19日

宇都宮市立晃陽中学校長 大島 誠



晃陽中は元気です！

6月1日（月）に学校が再開し、通常通りの学校生活がスタートして半月ほどが過ぎました。生徒たちは、次第に気温も高くなっていく中、「マスクを着用」し、学習に運動に部活動に一生懸命がんばっています。登校時には健康観察・体温確認・手洗い・うがい・消毒、給食時には全員マスクをして配膳し前を向いて静かに食べる等、マナーを守って安全に生活しています。体育祭がなくなり、部活の大会・コンクールも中止になるなど生徒にとっては残念な状況が続いていますが、教職員一同力を合わせて、子どもたちの成長をしっかり支援していきます。

学校休業により不足した授業時数につきましては、夏休みを8月1日（土）～16日（日）に短縮するとともに、学期間休業の10月13日（火）14日（水）及び冬季休業期間の12月26日（土）1月6日（水）7日（木）を登校日として、授業時数を確保する予定としています。今後の行事等につきましては、学校から配付する文書、一斉メール、ホームページ等でお知らせいたしますので、ご確認ください。



アルコールと注意書き



登校時の健康観察



教室の様子



手洗いとうがい



給食の配膳



前を向いての給食

生徒会立会演説・投票

3月に行われる予定だった生徒会立会演説と投票が6月11日（木）に実施されました。3密を防ぐため、演説はあらかじめ録画したものを各教室にてテレビで見てもらい、その後投票してもらう方法で行いました。3年会長候補4名、3年副会長候補3名、2年副会長候補4名が立候補し、全員が『晃陽中をさらに良くするために』と熱い思いを語ってくれました。投票の結果、会長は石岡直樹さん（3-1）、副会長は飯島颯太さん（3-1）・阿部将太さん（2-1）になりました。全校生徒で会長・副会長及び生徒会執行部を支え、素晴らしい晃陽中学校にしていきたいと思います。



教育相談週間



3か月にも及ぶ長期の休業、そして外出自粛などが続いたため、いつも以上にストレスを抱えている生徒がいる可能性があります。生徒の不安を少しでも和らげるため、6月15日（月）～23日（火）の期間に教育相談（担任と生徒で面談）を行っています。生徒たちは、短い時間ではありますが担任の先生と話すことができうれしかったようで、面談後はスッキリした表情で教室から出てきます。心配なことや聞いてみたいこと等がありましたら、遠慮せずにご連絡・ご相談ください。



地域協議会と美化委員

15日（月）に、晃陽中地域協議会（サポート会）の皆様にご協力をいただき、職員室前の花壇にグリーンカーテンとしてアサガオを植えていただきました。今年の夏は猛暑になるとの長期予報が出ていますが、7月末や8月中旬に授業があるため、暑さはほどほどであってほしいと願っています。グリーンカーテンの効果により、涼しく過ごせることでしょう。サポート会の皆様、ありがとうございました。



また、16日（火）には美化委員の3年生が、事務室前にゴーヤを植えてくれました。夏にたくさんの実をつけることを期待して、見守っていききたいと思います。



ちょっといい話？！ 「この一日」 PHP 7月号

私たちの日々の暮らしは、当たり前の小さな幸福に囲まれている。仕事前に^{きつ}喫する一服のお茶、休み時間に同僚と語り合う時間、そして家族との^{だんらん}団欒。

いや、それ以前に、朝起きて目いっぱい^の伸びをして息を吸える、大きな声で笑える、好きな場所へ自由に出かけられることそれ自体、なんて素晴らしいことなのか。

ところが、それは当たり前ではない。小さな幸福がかけがえのないものだを知るのは、きまってそれらが失われる^{まぎわ}間際で、手放したあとの^{かな}哀しみは計り知れない。平和と健康は、それほど『有り難い』ものなのである。

だからこそ、一日一日を大切に生きたい。「死にたい」などと安易に言うまい。

当たり前の一日を過ごすべく^{たたか}闘っている人があまたいるなか、感謝の心なく、自身も悔いが残る一日を過ごしては、もったいないとは言えないだろうか。

一片の雲もない美しい朝。いつものように一日が始動する。それは当たり前のよう^くでいて当たり前ではない。

謙虚な気持ちでこの一日を送りたい。

